

平成28年度事業報告

東日本大震災から早いもので6年がたち完全に復旧が進んでいない状況で、被災者の生活も仮設住宅で今なお不自由を余儀なくされているなど、立ち遅れている現状の一日も早い復興が求められている。

本年度センターの事業運営は公益目的事業を柱として、真に「地域に根差し市民から信頼されるシルバー人材センター」を目指して事業に取組み地域に密着した事業の開発や提供にも積極的に関わった。特に就業先でのお客様への挨拶・態度・マナー等に注意を払い仕事に打ち込んでもらうよう指導を図った結果、就業先からのクレームが減少した。さらには、事業強化の一環として民間・企業の就業拡大や会員加入の促進に取組んだ結果かなりの成果が表れた。

次に、請負事業の拡大や派遣事業への取組み、そして子育て支援、福祉等生活支援、ワンコインサービス事業等の拡大に取組んだ。また、独自事業の充実と拡大及びシルバー人材センターの特性を生かし、地域に貢献できる子供達の防犯活動や交通安全指導等のボランティア活動を始め各公民館の清掃活動を行い地域社会に貢献した。就業中の災害発生状況は重篤事故 0 件で、当センターでの事故件数は 7 件と減少、安全指導に取組んだ成果が表れ、全体で昨年よりも大幅に減り事故撲滅に向けた指導の徹底が功を奏した。

事業実績については、受託事業、派遣事業合わせて事業計画より契約高で 1,143 万円上回った。しかし会員数が460名に対し453名と計画を下回った。会員数は契約高と大きく関連するため次年度もしっかりと取組んでいくものとする。先般、厚生労働省より会員及び企業に対し、適正就業ガイドラインが示されたため、違法就業の無いよう留意するために説明会を開催した。企業に対しても機会を設け訪問して理解を求めて行くよう努力する。

就業延人員も実績が 50,626 人日と計画より上回った。11 月から 3 月まで、除草・剪定班会員の仕事が無くなるこの時期に就業が出来るような仕事の確保が必要になるので今後とも就業開拓に積極的に取組んで行く。

また、公益法人として収支相償を基本に事業運営を強化し、法令順守の徹底と安全適正就業を引き続き推進すると共に仕事の質の向上に引き続き努めて行く。また、ガバナンスの強化、情報公開、個人情報(マイナンバー等)にも配慮して諸施策や課題の実施に当たっては会員、役職員一丸となって取り組んで行くものとする。

なお、市が実施する国の地方創生拠点整備交付金を活用した施設整備計画による事業が、平成 28 年度予算により旧庁舎を改修し、「(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザ」の一角に、シルバー人材センター事務所が入ることになった。これを起爆剤として、富谷市シルバー人材センターの更なる発展と組織の充実強化をすすめていくものとする。

1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- ア. チラシの配布（富谷市毎戸全域）
- イ. 就業開拓担当の理事・会員・職員による就業機会の開拓（事業所訪問、一般家庭訪問）
- ウ. 会員募集(毎戸チラシ)

2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施した。

- ア. 普及啓発月間における活動
「商工会主催夏祭り」における協力及びPR活動
- イ. チラシ配布
- ウ. 会報の発行
- エ. ホームページによる情報公開
- オ. シルバーフェアによるPR
- カ. 町広報誌に会員募集を掲載
- キ. 第5回「とみやっこたなばたかざり」への参加・協力

3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会の開拓の方策を実施するために行っており、以下のことを実施した。

- ア. 会員への意識調査アンケート
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)

4. 相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- ア. 入会説明会 毎月1回ほかに出張入会説明会の開催
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時
- エ. 会員対象に面談を実施 随時

5. 安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- ア. 毎月安全・適正就業委員会の実施
- イ. 毎月安全パトロールの実施
- ウ. 安全・適正就業推進大会の実施
- エ. 安全標語の募集及び表彰
- オ. 安全便りの発行
- カ. 適正就業の普及推進(派遣事業の拡大強化)

6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- ア. 入会説明会の実施(毎月1回)・出張入会説明会
- イ. 町広報誌への会員募集の記載
- ウ. 女性部会「ハナミズキ」を実施

7. ワークプラザ施設整備の具体的推進

拠点施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう具体的に推進した。

- ア. 市が国の交付金を活用し旧庁舎を((仮称)産業交流プラザ)再利用申請し認められH28年度予算でリフォームしH30年3月31日までに完了
- イ. 施設整備調査検討委員会立上げ

8. 福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員スキルアップのための研修会に参加した。

- ア. 育児支援サービス
 - (ア)子育てサロン「ほっと育(す)く」の継続運営
 - (イ)一時預かり
 - (ウ)子育てスキルアップ講習会の実施(講師招聘、外部講習会)
- イ. 家事援助サービス
 - (ア)高齢者への家事援助
 - (イ)ワンコイン事業

9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

- ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動
- イ. 「商工会夏まつり」への参加協力
- ウ. 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業等の実施

10. 事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化に取り組んだ。

- ア. 不要支出の洗い出し
- イ. 消費節約の励行
- ウ. 会計基準の変更による、内部監査の実施

○平成 28 年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	460 人	453 人	98.5%
特別会員	2 人	2 人	100%
賛助会員	12 人	15 人	125%
受注件数	1,530 件	1,712 件 (内派遣 19 件)	122.3%
受注契約金額	235,000 千円	246,437 千円	104.8%
(受託事業)	(173,000 千円)	(176,504 千円)	(102.0%)
(労働者派遣事業)	(62,000 千円)	(69,933 千円)	(112.7%)
就業延人員	48,000 人日	50,626 人日	105.5%
就 業 率	93%	95.6%	102.8%
粗 入 会 率	3.70%	3.53%	95.4%